

令和6年度事業報告

本会は、全国の地先沿岸海域において発生する船舶海難や海浜事故の救助活動をボランティアで展開するために、全国各地に設立されている民間の地方水難救済組織を統括的に支援する公益社団法人であり、地方水難救済組織による水難救済事業をはじめとする各種事業の活性化及び事業執行体制の基盤整備を支援している。

また、洋上の船舶において発生した傷病者を対象とする救急医療サービスを提供するために海運・漁業・医療等の民間関係団体や海上保安庁等の海難救助関係機関の連携協力によって導入された世界唯一の洋上救急体制の維持運営を推進している。

I 実施した事業の概要

本会では、最近の水難事故や自然災害の発生時における公的機関や民間組織による対応体制の実情などを勘案し、公的関係機関による水難救助活動や災害救援活動を補完するため、地方水難救済組織によるボランティアでの水難救済活動や災害救援活動を支援し、かつ、その充実強化を図っている。

また、海上保安庁をはじめとする関係機関や民間団体等の支援を得ながら、全国各地における洋上救急体制を維持運営している。

これらの目的のため、令和6年度は次のような各種事業を実施した。

・水難救済に関する事業

水難救済活動（災害発生時における救援活動を含む。）に参画する団体、又は個人に対する支援（研修・訓練を含む。）に関する事業

・洋上救急に関する事業

洋上の船舶等で重篤な傷病者が発生した際の医師・看護師の派遣による洋上救急医療体制の維持運営に関する事業

・水難救済思想の普及啓発に関する事業

広く国民を対象とした水難救済思想の普及啓発に関する事業

・青い羽根募金に関する事業

全国各地の地方水難救済会に所属するボランティア救助員による水難救済活動に使用する救難資器材の整備等に必要な資金を確保するための募金事業

以上のほか、地先沿岸海域における搜索救助の拠点となる救難所等の整備をはじめ、ボランティア救助員の増強や若返りのためのリクルート、地方組織の法人化等の事業推進基盤の強化を支援するとともに救難所員等の扶助・補償等を行う

ことにより、事業執行体制の充実整備と地方組織の活性化を図っている。

また、自然災害発生時には積極的に救援活動を行うとともに、国・地方自治体等が主催する災害対応訓練に積極的に参加することにより、地方水難救済会による役割の重要性について関係者の理解を深めてもらい、国と地方自治体からの活動支援を得るべく努めている。

Ⅱ 事業執行体制の充実整備と地方組織の活性化のための具体策

1 地方組織の活性化の推進

本会では、組織の活性化、組織の健全化を目的とした組織改変整備を進めているが、最近の海難の発生・救助状況を踏まえ、全国規模でのボランティア海難救助を効果的に推進するため、従前からの漁船海難等の海難救助を主たる対象とした救難拠点のみならず、各種マリレジャー等に伴う遭難事故を対象とした救難拠点整備を積極的に進めている。

（１）令和６年度に新設された救難所等

設置年月日	水救会名	救難所名	支所名
令和６年４月１日	福岡県	大里	
〃	〃	旧門司	
〃	琉球	ハレクラニ沖縄	
令和６年５月２日	〃	沖縄ライフセービング協会機動	
令和６年１０月２１日	山口県	島戸	
令和６年１１月３０日	〃	(豊浦)	小串
令和７年２月１４日	北海道	(戸井)	戸井西部
新設合計		５か所(２か所)	２か所(４か所)

注) ()書きは令和５年度末現在

- ① (公社)福岡県水難救済会は、北九州市門司区大里地区、北九州市門司区旧門司地区周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たに救難所を設置。
- ② (公社)琉球水難救済会は、恩納村周辺海域で発生する水難事故に対処するため、新たにリゾートホテル「ハレクラニ」内に救難所を設置。
- ③ (公社)琉球水難救済会は、自然海岸周辺における海難救助に焦点を当て救助活動をしている(一社)沖縄県ライフセービング協会と連携し、沖縄県内における広域エリアの水難事故に対処するため、新たに同ライフセービング協会内に救難所を設置。
- ④ 山口県水難救済会は、豊北町救難所島戸支所を廃止し、新たに島戸救難所を設置。
- ⑤ (公社)北海道海難防止・水難救済センターは、函館地区の戸井救難所の３支所を廃止し、新たに戸井西部支所を設置。

（２）令和６年度に廃止された救難所等

廃止年月日	水救会名	救難所名	支所名
令和６年４月１日	千葉県	(銚子)	黒生

令和 6 年 6 月 15 日	〃	〃	西
令和 6 年 10 月 21 日	山口県	豊北町 ^{ほうほくちやう}	
〃	〃	(豊北町)	島戸
令和 6 年 11 月 30 日	〃	山口	
令和 7 年 2 月 14 日	北海道	(戸井)	釜谷
〃	〃	〃	汐首
〃	〃	〃	瀬田来
計		2 か所 (3 か所)	6 か所 (4 か所))

注) () 書きは令和 5 年度末現在

- ① 千葉県水難救済会の黒生支所及び西支所の廃止は、漁業協同組合の支所廃止により、銚子支所へ統合したもの。
- ② 山口県水難救済会の豊北町救難所の廃止は、組織再編によるもの。
- ③ 山口県水難救済会の山口救難所の廃止は、秋保浦救難所への統合によるもの。
- ④ (公社)北海道海難防止・水難救済センターの釜谷支所、汐首支所、瀬田来支所は、新設の戸井西部支所への合併によるもの。

(3) 令和 6 年度に名称変更された救難所等

変更年月日	水救会名	旧名称	新名称
令和 6 年 4 月 1 日	神奈川県	大楠救難所	佐島救難所
令和 6 年 11 月 30 日	山口県	島戸救難所	豊浦統括救難所
〃	〃	豊浦救難所 ^{こぐし} 小串支所	豊浦統括救難所小串支所
〃	〃	豊浦救難所 ^{かわたな} 川棚支所	豊浦統括救難所川棚支所
〃	〃	豊浦救難所 ^{ゆたま} 湯玉支所	豊浦統括救難所湯玉支所
〃	〃	島戸救難所 ^{ふたみ} 二見支所	豊浦統括救難所二見支所
〃	〃	島戸救難所 ^{やたま} 矢玉支所	豊浦統括救難所矢玉支所
〃	〃	島戸救難所 ^{わく} 和久支所	豊浦統括救難所和久支所
〃	〃	島戸救難所 ^{こつとい} 特牛支所	豊浦統括救難所特牛支所
〃	〃	島戸救難所 ^{こえなか} 肥中支所	豊浦統括救難所肥中支所
〃	〃	島戸救難所 ^{あがわ} 阿川支所	豊浦統括救難所阿川支所
〃	〃	島戸救難所 ^{あわの} 粟野支所	豊浦統括救難所粟野支所
計		12 か所 (1 か所)	

注) () 書きは令和 5 年度末現在

- ① (特)神奈川県水難救済会大楠救難所の名称変更は漁業協同組合統合によるもの。
- ② 山口県水難救済会島戸救難所等(11 箇所)の名称変更は組織再編によるもの。

(4) 令和 6 年度末現在の救難所及び支所の数

救難所 794 箇所(791 箇所)
支 所 529 箇所(533 箇所)

注) () 書きは令和 5 年度末現在

(5) 令和 6 年度末現在のボランティア救助員の数

48,368 名(47,850 名)

注) () 書きは令和 5 年度末現在

2 水難救済に関する事業

令和6年における救助出動件数は321(324)件で、延べ345(361)か所の救難所等から延べ2,264(2,062)名の救難所員及び協力者429(470)名が出動し、320(443)名の遭難者と117(140)隻の船舶を救助しており、救助した船体及び積荷の見積評価額は約1億8千万円(約4億7千万円)であった。

また、救助出動に備え、ボランティア救助員に対する所要の訓練及び救難資機材の整備等を実施した。

(1) 救助実績(令和6年12月末現在)

(単位:人、隻、千円)

区分 種別	出動件数	救助人命	救助船舶		出動内容	
			救助隻数	船体積荷見積額	救難所員等	救助船舶等
船舶海難	166	246	117	176,590	1,713	648
人身事故	155	74			980	292
災害対応	0	0			0	0
合 計	321 (324)	320 (443)	117 (140)	176,590 (469,990)	2,693 (2,532)	940 (833)

注) ()書きは令和5年末の実績

注1) 海難救助及び出動実績総括表は附属明細書1のとおり

注2) 救難所別海難救助実績は附属明細書2のとおり

(2) 海難救助出動報奨金等の交付(令和7年3月末現在)

公益財団法人日本財団の助成金、日本漁船保険組合及び全国漁業協同組合連合会からの補助金等により、海難救助に出動した全国339(371)救難所等のボランティア救助員2,061(1,927)名及び652(498)隻の救助船所有救助員に対し、救助出動報奨金を交付した。

また、各救難所で実施された海難救助訓練で使用した延べ63(73)隻の船舶を所有するボランティア救助員に対し、訓練使用船舶支援金を交付した。

(単位:箇所、人、千円)

区 分	対象救難所等数	対象救難所員数	金額
救難所員報奨金		2,061	9,277
船舶報奨金		652	5,605
合 計	339 (371)	2,713 (2,425)	14,882 (13,240)

注) ()書きは令和5年度の実績

(単位:箇所、人、千円)

区 分	対象救難所等数	対象救難所員数	金額
地方組織支援費・会議費	1 1 3		4 5 7
人命救助訓練奨励金			1, 4 0 9
訓練使用船舶支援金		6 3	1 9 3
合 計	1 1 3 (116)	6 3 (73)	2, 0 5 9 (1,367)

注) ()書きは令和5年度の実績

事業費総額 22, 987, 744円(19, 688, 837円)

(3) 海難救助訓練の実施

救難所員の出動時の安全確保、救難技術の向上及び士気の高揚を図り、かつ効果的な海難救助活動に資するため、海上保安部署等と連携して所員に対し、救難用資器材の点検・取扱い要領及び心肺蘇生法等の基礎訓練並びに漂流者揚収訓練等の応用訓練等を実施した。

また、地震・津波災害等の発生に備え、国・地方自治体が主催する災害対応訓練へも積極的に参加することとしている。

本会では、これらの海難救助及び災害対応訓練に参加した地方水難救済会に対し、訓練の実施状況等を勘案し、会議費及び地方組織支援費を交付した。

なお、各地方水難救済会では、かかる活動を最大限実施しようという強い意志のもと、本年度は地方水難救済会28(23)か所において海難救助訓練を実施した。

事業費総額 5, 239, 844円(4, 979, 633円)

[実地訓練等の実施状況]

区 分	実 地 訓 練	うち地方自治体との合同防災訓練
対象救難所等の数	131か所(124)	12か所(11)
参 加 人 数	2,062名(1,686)	40名(77)

注) ()書きは令和5年度の実績

(4) 人命救助訓練奨励金の交付

公益財団法人日本海事センター(旧日本海事財団)から交付された人命救助訓練奨励基金(1億円)の運用益等により、人命救助訓練に参加した救難所員

1,409(1,263)名に対し訓練奨励金を交付した。

事業費総額 6,158,154円(5,115,063円)

(5) 救難体制の整備

海難事故や自然災害への救助、支援要請に対し、迅速、かつ、的確に対応できる救助体制の充実を図るため、引き続き、老朽化した救難資器材の整備を次のとおり整備した。

事業費総額 17,571,726円(16,708,231円)

品 目	規 格	数 量
安全帽	水難救済会のマーク・名入り	85個(83)
救命胴衣(固定式)	NS-SLVI	134着(126)
救命胴衣(膨張式)	NS-7000	47着(48)
救急セット	応急医療具ABセット	7式(11)
救命浮環	NS-39Ⅱ	25個(25)
自動体外式除細動器(AED)	CR2 8年保証	6個(8)
ゴムボート	WB-80	5隻(0)
消防兼排水ポンプ	トーハツ VE20A	2台(0)

注) ()書きは令和5年度の実績

(6) 海難救助に功労のあった者等の表彰に関する事業

海難救助表彰を次のとおり実施した。

事業費総額 10,224,566円(6,365,334円)

<令和6年度表彰実績>

① 名誉総裁表彰

令和6年6月7日、名誉総裁高円宮妃殿下ご台臨のもと、名誉総裁表彰式典を挙行し、海難救助などに極めて抜群の功労あった団体について表彰を行った。

イ 海難救助功労	5件(団体5)(1件)
ロ 洋上救急功労	1件(団体1)(0件)

ハ 事業功労 1 件（個人 1）（4 件）

② 会長表彰

・海難救助功労

（ア）救助功労 1 3 件（個人 9、団体 4）（9 件）

（イ）救助出動回数功労 2 5 件（個人）（46 件）

（ウ）永年従事功労 3 4 件（個人）（34 件）

・洋上救急功労 6 件（個人 5、団体 1）（4 件）

・事業功労 5 3 件（個人 1 5、団体 3 8）（64 件）

（参考）その他表彰事業費を使用した経費

洋上救急事業 6 7 3, 2 0 0 円（2 1 4, 3 3 5 円）

青い羽根募金事業 1 3 0, 2 7 3 円（6 7, 2 6 0 円）

注）（ ）書きは令和 5 年度の実績

3 洋上救急に関する事業

本事業に関する全国健康保険協会からの受託金のほか、公益財団法人 日本海事センター、その他海事・漁業関係団体からの助成金等及び拠出金並びに受益船主からの負担金等を得て、洋上にある船舶内で緊急に医師による医療措置を必要とする傷病者が発生した場合、医師等の同乗する海上保安庁又は自衛隊の船艇・航空機を現場に急行させ、傷病者に対する救急医療を施しつつ、最寄りの病院まで緊急搬送するという洋上救急活動を実施するとともに、こうした洋上救急活動に出動する可能性のある医師等を対象とした慣熟訓練等を行った。

なお、令和 6 年度の洋上救急出動件数は 2 0（1 9）件で、昭和 6 0 年 1 0 月洋上救急制度発足以来の累計件数は 1, 0 0 6 件、救助人数は 1, 0 3 9 人となった。

事業費総額 3 1, 9 5 1, 3 2 8 円（3 1, 8 2 6, 3 2 6 円）

4 水難救済思想の普及に関する事業

本会及び地方水難救済会が実施している各種水難救済事業について、各種広報媒体を活用し、海事・漁業関係者のみならず、広く一般国民の理解と協力の醸成、拡大を図るとともに、水難救助者その他海上安全に関係する他の民間関係団体等との連携強化を図りつつ、船舶海難や海浜事故の未然防止活動及び水難救助に関する知識技能の普及啓発に努め、沿岸海域における救難体制の充実強化を図った。

また、本事業の一環として、水難事故から身を守るための必要かつ最低限の知識と技能について整理し、効果的な教授方法を検討し、全国普及実践モデルの全体像を確立することを目的とし、日本財団主導のもと日本ライフセービング協会等と連携した「海のそなえ」プロジェクトを実施するとともに、併せて、報道機関を通じて広く国民に周知活動を行い、当会の認知度向上のための活動を積極的に行った。

① 地方水難救済会による海の安全教室の開催(令和6年度)

- ・開催個所 9 (7) か所
- ・開催教室数 39 (32) 教室
- ・受講者数 4,397 (3,759) 人

事業費総額 24,411,514円(5,083,99円)

5 青い羽根募金に関する事業

7月、8月の2ヶ月間を「青い羽根募金強調運動期間」として、国土交通省、海上保安庁、消防庁及び水産庁の後援を得て、全国的な募金活動を展開した。

その結果、本会では19,565,271(18,040,024)円の寄附金を得て、水難救済にかかる各種事業に活用するとともに、青い羽根募金用ポスター等の作成及び地方組織による募金活動に対する支援等の事業を実施した。

さらに、民間企業等の協力のもと青い羽根募金支援自動販売機の増設に努めた。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に際し、「能登半島地震災害支援金」の募金を開始し、これまでに188件(うち令和5年度163件)、総額9,175,616円(うち令和5年度8,438,391円)の募金が集まり、全額を特に甚大な被害を受けた能登水難救済会にお送りした。

事業費総額 35,022,161円(21,274,437円)

6 救難所員等の扶助・補償等に関する事業

公益財団法人日本財団からの助成金を受け、海難救助作業(海難救助訓練を含む。)において救難所員に災害が発生した場合などに、本人等に対し災害補償を行うための事業及び賞じゅつ金等を贈与する事業を実施しているが、令和6年度は、対象事案はなかった。

事業費総額 3,241,471円(3,077,701円)

7 その他

令和6年度において、各事業の活性化を促すため、次の活動を実施した。

(1) 組織基盤の強化

組織基盤の強化等を図るため、二号正会員、賛助会員の積極勧誘を行い、令和6年度において、新たに二号正会員2(4)者、賛助会員4(9)者が加入した。

(2) 日本水難救済会の主な職務執行状況

別紙のとおり

令和6年度における日本水難救済会の主な職務執行状況

○令和6年度名誉総裁表彰式典(6月7日)

名誉会長：高円宮妃殿下、斉藤国土交通大臣、石井海上保安庁長官等臨席のうえ実施。海難救助功労(団体)5件、洋上救急功労(団体)1件、事業功労(個人)1件

同日、第132回定時社員総会、臨時理事会を開催



○「海のそなえプロジェクト」開始(6月～)

(目的)民間組織を中心としたオールジャパン体制を構築し、水難事故防止に関する常識を再検証し、事故原因の調査分析を行う等して、事故防止のための効果的な教育プログラムを開発し、普及・定着させる。

(共催)日本財団、日本水難救済会、日本ライフセービング協会、河川財団等

(協力)海上保安庁

(期間)令和6年4月～3カ年



キックオフ企画シンポジウム(6月19日@東京ポートシティー竹芝)

令和6年度の同プロジェクト関連業務実施状況は別添のとおり。

○青い羽根関連業務

・青い羽根募金強調運動期間、国土交通大臣等表敬(7月12日)

ミス日本「海の日」とともに斉藤国土交通大臣、瀬口海上保安庁長官、消防庁長官、水産庁長官等を表敬



・関東周辺における主な募金活動



日本海洋少年団東京地区連盟(5月18、19日) 神奈川県水難救済会(6月9日)
 @東京国際クルーズターミナル @横浜みなとみらいホール

・青い羽根募金功労者への会長感謝状贈呈(個人11人、団体24件)



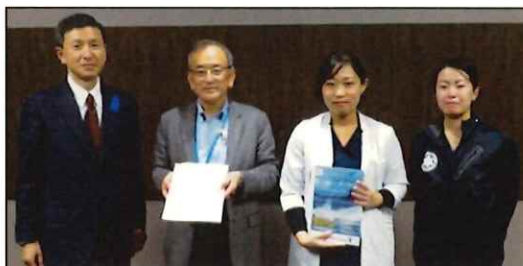
○洋上救急関連業務

・中央洋上救急支援協議会第39回通常総会(6月27日)

石井海上保安庁長官等臨席のうえ実施
 会長表彰:団体1件、個人3件



- ・愛知医科大学との間で洋上救急業務の協力に関する協定を締結(6月27日)
- ・JA 神奈川県厚生連相模原協同病院との間で洋上救急業務の協力に関する協定を締結(1月20日) 全国の協力医療機関は 145 機関



- ・洋上救急事業の出動対象者に「医療機関勤務の救急救命士」を追加(7月1日)
全関係団体の了解を受け、第一回通常理事会で承認。全国健康保健協会承認。
- ・令和6年度中央洋上救急慣熟訓練(12月10日@羽田航空基地)
過去最大となる約50名が参加。初となる病院勤務の救急救命士と海保特殊救難隊救急救命士の意見交換を実施。



- ・令和6年度中央洋上救急研修会(1月27日、28日 @海事センタービル)
各地方支部、海保各管区本部の担当者が参加。日本体育大学保健医療学部 増野智彦教授による講演「現場出場医師から見た洋上救急の特徴と円滑な活動」



○水難救済会知名度向上のための講演

東京西北ロータリークラブ等の各種団体、海上保安庁教育機関、日本大学、日本体育大学等において、理事長、常務理事による合計25回の講演を実施。



6月3日東京西北ロータリークラブにおける講演:理事長(麻生理事からの推薦)



○小川監事への海上保安庁長官感謝状贈呈(8月8日@海保本庁)

小川監事の多年にわたる当会へのご尽力に対し、海上保安庁長官感謝状が贈呈。



○メディア対応状況

テレビ、新聞(ネットニュースを含む)等に合計50回以上出演する等して、海難事故の解説、事故防止のための啓発等、水難救済思想の普及と知名度向上に努める。



○外国海難救助組織関係者との意見交換

韓国、台湾から海難救助組織関係者が来所し、民間海難救助団体について、情報共有と意見交換を実施。



韓国海洋警察庁関係者との意見交換(10月29日)



台湾海洋委員会関係者との意見交換(11月20日)

令和6年度における「海そなえプロジェクト」関連業務実施状況

海保及び地方水救会との調整 (協力依頼・方針説明)

- 海上保安大学校(8/27)・学校(9/18)
- 一管本部及び北海道水救会(7/22・23)
- 三管本部及び神奈川・千葉水救会
- 六管本部及び広島水救会(6/21)
- 七管本部及び大分(9/25)・福岡(10/22)
佐賀・長崎水救会(12/9~10)
- 八管本部及び京都水救会(9/17)
- 九管本部及び新潟水救会(9/27)
- 十管本部及び鹿児島水救会(12/2)
- 十一管本部及び琉球水救会(8/13)

一般企業等への協力 (講話・安全指導)

- 九段中等教育学校遠泳行事協力
(委員会3回、行事参加7/29~31)
- モーターボート競走会安全講習会
(全23レース場対象・計9回)
- 東京湾遊漁船組合落水事故救助訓練(6/4)
- 東京湾新海面埋立協議会落水事故救助訓練(10/24)

児童生徒への直接指導 (講話・実技)

- 九段中等教育学校(5/29)
- 横浜市洋光台保育園(7/16)
- 横浜市昴保育園(7/19)
- 京都府木津川市立恭仁小学校(7/9)
- 千葉県長生村立一松小学校(7/16)
- 釧路水辺の事故防止体験学習(7/29)
- 由比ガ浜溺水防止デー行事(7/25)
- 大分水防災危機対応学習(7/27)
- アハラビーチ機動講習会(8/13)

一般市民・保護者・教師への講話 (講話)

- 日本体育大学公開講座(5/13・7/13)
- 京都府木津川市立恭仁小学校(7/8)

関係機関との調整 (連携強化)

- 日本赤十字社
- 日本水泳連盟
- B&G財団
- 日本スイミングクラブ協会
(5月~10月にかけて複数回協議実施)



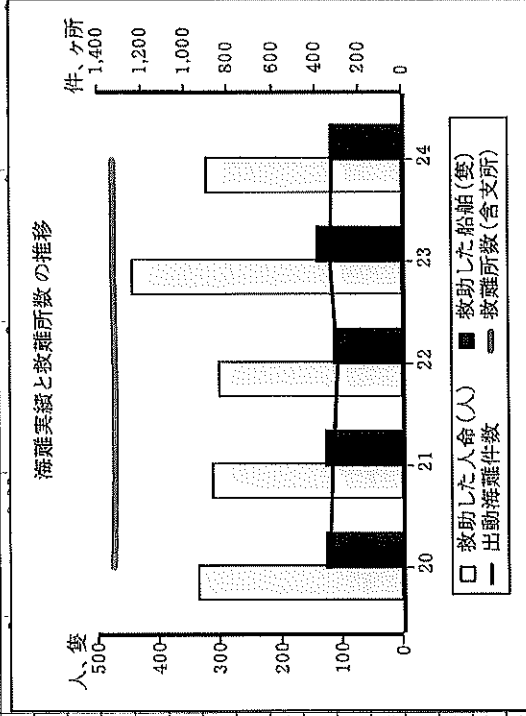
附 属 明 細 書 1

海難救助及び出動実績総括表

令和06年01月01日
至 令和06年12月31日
(単位:人、隻、トン、千円)

令和06年救助実績

救助区分		救助船舶				出動内容								
		隻数	総トン数	船体積荷見積価格		出動海難件数			救難所		協力			
				船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員		救助船舶	協力者	
要救助出動	船舶海難	54	6	107.88	17,530	0	17,530	11	1	12	59	19	21	3
	漁船	51	43	130.05	88,160	5,800	93,960	38	18	56	1,005	376	302	118
	プレジャーボート	130	67	85.29	70,900	230	71,130	86	9	95	307	124	14	6
	その他	11	1	4.90	0	0	0	2	1	3	5	2	0	0
	船舶海難 計	246	117	328.12	176,590	6,030	182,620	137	29	166	1,376	521	337	127
	人身事故	2						4	3	7	134	58	2	0
	陸岸より落水	16						18	20	38	214	70	18	5
	遊泳中	20						20	8	28	141	30	4	0
	潜水中	1						2	8	10	47	11	1	1
	サーフィン	2						11	6	17	91	18	1	2
災害対応	ボードセーリング	2						2	0	2	4	2	0	0
	水上オートバイ	0						0	0	0	0	0	0	0
	孤立	10						6	0	6	9	5	0	0
	負傷	4						4	0	4	7	5	2	0
	病気	2						2	0	2	7	2	0	0
	その他	15						17	24	41	234	49	64	34
	人身事故 計	74						86	69	155	888	250	92	42
	緊急物資輸送	0						0	0	0	0	0	0	0
	被災者輸送	0						0	0	0	0	0	0	0
	救援要員輸送	0						0	0	0	0	0	0	0
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	
災害対応 計		0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		320	117	328.12	176,590	6,030	182,620	223	98	321	2,264	771	429	169



附 属 明 細 書 2

救難所別海難救助実績

自 令和06年01月01日
至 令和06年12月31日
(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分	救助人命	救助船舶								出動内容							
			隻数	(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力	
	一般船舶			漁船	プレジャー	その他	船体		積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船	
小樽地区	石狩		1	1									1	1	2			
	古平														43	20	69	5
	美国		1		1								1	1	16	8	4	1
	積丹	4	3			3						4		4	14	4	1	
	泊	2	1			1						1		1	4		2	1
	島牧村	1	1			1	2.00					1		1	3	1	1	
松山地区	瀬棚														1			
	北檜山												1	1	4			
	奥尻												1	1	28	14		
	青苗														23	13		
函館地区	松前		1		1								1	1	30	10	88	33
	知内												1	1	12	3		
	えさん												1	1	22	8	13	5
	鹿部												1	1	33	14	74	32
室蘭地区	豊浦	1										1	1	2	16	6	2	
	伊達	2										1		1	1	1	2	1
	白老												3	3	28	4		
	苫小牧											1		1	8	4	1	
北見地区	湧別												1	1		1	2	
稚内地区	鬼臨	3	4		4		0.56	2,020		2,020	1			1	31	4		
	北海道計	13	12	1	6	5	2.56	2,020		2,020	10	13	23	328	124	259	78	
青森県	小泊	1	1		1		4.60	13,000		13,000	1		1	1	1	1		
	計	1	1		1		4.60	13,000		13,000	1		1	1	1	1		
岩手県	久慈地区	5										1		1	9	4		
	大船渡	11	4		3	1	4.70	1,200		1,200	6		6	13	4	15	3	
	計	16	4		3	1	4.70	1,200		1,200	7		7	22	8	15	3	
宮城県	閼上	1	1			1	0.20					1		1	2	1		
	亘理		1			1	0.20								1	1		
	雄勝	1	1			1	1.10					1		1	3	1		
	南三陸												1	1	1	1	2	
	寄殿	3										1		1	3	1		
	計	6	3			3	1.50					3	1	4	10	5	2	
(特)秋田県	北浦												1	1	2	1		
	島												1	1	18	5		
	計												2	2	20	6		
山形県	酒田														13	6		
	袖浦														10	5		
	由良	2	2		1	1	4.90					1		1	17	5		
	豊浦	1	2		1	1						1	1	2	6	3		
	念珠間												1	1	2	1		
	計	3	4		2	2	4.90					2	2	4	48	20		
茨城県	平潟支部														2			1
	大津支部											1		1	28	3		
	大洗支部	1										1		1	4	1	2	
	計	1										2		2	34	4	2	1
千葉県	九十九里町											3	1	4	16			
	夷隅東部	1										1		1	16	3		
	富津	3										2		2	20	3		
	長生郡広域	2										8	6	14	94	1		
	金田											1		1	2	1		
	新富津	1										1		1	7	1		
	富津PW	3	2			2		1,300	200	1,500	4		4	18	4			
	計	10	2			2		1,300	200	1,500	20	7	27	173	13			
(旧)神奈川県	腰越	1										1	1	2	3	2		
	真鶴	1										1		1	2	1		
	薬山	4										4	1	5	5	5		

自 令和06年01月01日
至 令和06年12月31日
(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分	救助人命	救助船舶							出動内容							
			隻数	(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力
	一般船舶			漁船	プレジャー	その他	船体		積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船
	二宮	1										1		1	2	2	
	計	7										7	2	9	12	10	
伊豆地区	大熟海	3										1		1	2	1	
	伊東	1											2	2	7	3	
	稲取	1										3		3	5	2	
	下田	5	3			3	6.60					4		4	15	5	
	計	10	3			3	6.60					8	2	10	29	11	
静岡地区	ICS	2										2	2	4	16	5	2
	沼津											1		1	3	1	
	焼津	2	1			1		1,000		1,000		1		1	2	1	1
	明前所港の災害														2		
	静岡広域DRS	2										4	2	6	29		1
	USPR掛川											1		1	1		
	計	6	1			1		1,000		1,000		9	4	13	53	7	4
愛知県	渥美地区												2	2	28	6	
	伊勢湾東部沿岸地区救難協議会	1										1		1	1	1	
	伊勢湾南部地区	5	2			1	1	17.10	13,000	13,000		2		2	19	2	10
	三河湾西部地区												1	1	5	4	50
	計	6	2			1	1	17.10	13,000	13,000		3	3	6	53	13	60
三重県	伊勢湾中部沿岸地区救難協議会	3	1					19.00	50,000	50,000		1		1	6	4	
	伊勢湾中部沿岸地区救難協議会	3	1	1				74.00				1	2	3	400	130	3
	志摩湾沿岸地区救難協議会												1	1	6	3	
	伊勢湾中部沿岸地区救難協議会	1										2	2	4	11	6	1
	計	7	2	1		1		93.00	50,000	50,000		4	5	9	423	143	4
和歌山県	紀中												1	1	4	2	
	紀南西部	2	1			1		3.80				3		3	9	7	
	紀南東部	2										3		3	5	3	
	計	4	1			1		3.80				6	1	7	18	12	
兵庫県	沼島											1		1	7	1	
	香住	1	1			1		0.46	140	140		2		2	16	12	4
	淡路市西海岸												1	1	7	1	
	計	1	1			1		0.46	140	140		3	1	4	30	14	4
徳島県	海部	3	1			1		2.50				2		2	6	5	1
	計	3	1			1		2.50				2		2	6	5	1
高知県	宇佐		1			1						1	2	3	11	8	3
	幡東	1	1			1		2.00	3,100	3,100		1		1	1	1	
	安芸	1										1	1	2	32	12	
	高幡	1	1			1		1.30				1		1	8	4	
	計	3	3			2	1	3.30	3,100	3,100		4	3	7	52	23	3
岡山県	瀬上漁業協同組合	4	1				1	3.40				1		1	1	2	2
	中々町漁業協同組合	2	2			2		4.90				1		1	6	5	6
	スズキマリーナ株式会社 スズキマリーナ・スズキマリーナ・スズキマリーナ	3										1		1	2	1	
	計	9	3			2	1	8.30				3		3	9	7	7
山口県	湊												1	1	2	1	
	豊北町		1			1							1	1	5	2	
	豊浦												1	1	2	1	
	下関蓋井島	3	1			1						1		1	2	1	
	萩越ヶ浜		1			1		7.90	6,300	6,300		1		1	12	3	
	計	3	3			2	1	7.90	6,300	6,300		2	3	5	23	8	
香川県	庵治	1										1		1	1	1	
	池田	4	1			1		4.00				1		1	1	1	
	計	5	1			1		4.00				2		2	2	2	
愛媛県	三崎	15										1	1	2	9	2	7
	津島	1	1			1						1		1	1	1	
	計	16	1			1						2	1	3	10	3	6
(公財)福岡県	柏原	3										1		1	10	3	

救難所別海難救助実績

自 令和06年01月01日

至 令和06年12月31日

(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶							出動内容								
			隻数	(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力	
				一般船舶	漁船	プレジャー	その他		船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船
	神湊	1	2			2						3	1	4	22	10		
	津屋崎	1	1			1						1		1	2	1		
	福岡		1			1	0.99					1		1	1	1		
	地島											1		1	13	8		
	奈多											1		1	8	2		
	西浦	3	1			1	5.00								2	1		
	船越														10	1		
	姫島	9	1		1		7.85					2		2	7	2		1
	宇島	2	1			1	2.00					1		1	3	1		
	大岳		1			1	0.20					1		1	2	1		
	計	19	8		1	7	16.04					12	1	13	80	31		1
佐賀県	玄海上地区	5	2			2	10.40					1		1	4	2	1	
	玄海中地区	3										2		2	6	2		
	玄海下地区											1		1	1	1		
	唐津マリン	4										1		1	3	1		
	計	12	2			2	10.40					5		5	14	6	1	
(特)長崎県	稲佐	7	3		2	1	2.70	3,000		3,000		4		4	10	4		
	三重	6	2			2						3		3	11	4		
	野母崎	20	11	1	5	5	29.19	20,200	5,000	25,200		12	1	13	64	14	1	1
	美津島町西海	7	1	1			15.00					1		1	1	1		
	石田											1		1	8	3	2	1
	有川町有川	1										1		1	2	1		
	若松	1										1		1	3	3		
	若松町中央											1		1	4	2		
	諫浦												1	1	9	4		
	黒島												1	1	3	1		
	大瀬戸町		1			1						1		1	2	1		
	計	42	18	2	7	9	46.89	23,200	5,000	28,200		25	3	29	117	38	3	2
大分県	佐賀関	1	2		1	1						1	1	2	6	4		13
	西大分	1	1			1	0.20					1		1	1	1		
	津久見											1		1	2	1		
	姫島	5	2			2	3.80	4,000		4,000		2		2	4	2		
	計	7	5		1	4	4.00	4,000		4,000		5	1	6	13	8		13
京都府	ソレントスキャー船行	3										3		3	4	3		
	宮津・与謝	2	1			1	1.10	300	30	330		1		1	1		1	1
	丹後町	1	1			1						1		1	2	2	1	
	計	6	2			2	1.10	300	30	330		5		5	7	5	2	1
福井県	高浜水難	2	1			1						2		2	8	2		1
	美浜											1		1	1	1		
	敦賀市水難	2	2			2						3		3	5	3		
	越前町水難											1		1	18	18		
	南越前町水難		1		1								2	2	36	11		
	小浜市水難		1			1						1		1	1	1		
	計	4	5		1	4						8	2	10	69	36		1
鳥取県	マリーナ大栄		1			1							1	1	3			
	計		1			1							1	1	3			
島根県	恵曇											1		1	2	1		
	出雲	1										1	2	3	34	7		
	浦郷												1	1	8	4	4	2
	計	1										2	3	5	44	12	4	2
新潟県	山北	2	1		1		4.00					2		2	39	8		
	岩船港	2										1		1	21	2	5	1
	出雲崎	11	1			1	4.90					1		1	2	1		
	直江津	4	3		1	2						3	1	4	17	9	14	3
	両津	1	1		1		9.48					1		1	1	1		
	佐渡南部	3	3		1	2	3.70					2	2	4	6	4	3	1

救難所別海難救助実績

自 令和06年01月01日
至 令和06年12月31日
(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分 救難所	救助人命	救助船舶							出動内容								
			隻数	(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力	
				一般船舶	漁船	プレジャー	その他		船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船
	聖耀	2	1		1						1		1	3	1	1		
	計	25	10		4	5	1	22.08			11	3	14	89	26	23	5	
富山県	魚津	1									2		2	13	1			
	富山	1	1			1					1	2	3	33	4			
	新湊										1	3	4	42				
	計	2	1			1					4	5	9	88	5			
石川県西部	羽咋港・ツリー	3	1			1		2.00	5,000	5,000	2		2	7	3			
	計	3	1			1		2.00	5,000	5,000	2		2	7	3			
鹿児島県	薩摩川内市田内													2	1			
	阿久根市											2	2	108	55	2		
	東市来・日吉											1	1	3	1			
	龍郷											1	1	2	2			
	十島村	1	1	1				4.99	530	530	1		1	2	2			
	南大隅町佐多										1	1	2	4	3			
	肝付町	2	1			1					2	4	6	31	11	1		
	奄美市	14									1	2	3	10	6			
	鹿屋市										1		1	1	1			
	南さつま市											1	1	2	2			
	鹿児島市	3									2		2	5	2			
	志布志市	3	1			1					2		2	3	2			
	屋久島町											1	1	13	10			
	長島町													21	7			
	計	23	3	1		2		4.99	530	530	10	13	23	207	105	3		
宮崎県	日向市高島根地区	1	1			1		3.40			1		1	1	1			
	門川町高島根地区	1									1		1	1	1			
	川南町高島根地区										1		1	6	3			
	日向市高島根地区	1									1		1	3	3			
	計	3	1			1		3.40			4		4	11	8			
熊本県	有明		1			1						1	1	4	1			
	牛深	2	1			1					1		1	2	1			
	宇土	6									1		1	15	1	15	1	
	計	8	2			2					2	1	3	21	3	15	1	
北部地区	国頭		1		1						1	2	3	15	8	1		
	今帰仁										1		1	2	1			
	本部	3	2		1	1		4.90			3		3	9	5			
	かりゆしビーチ											1	1	3	1			
	カヌチャ	7									1		1	1	1			
	やんばる東村	5									1		1	6				
恩納地区	恩納	2									1		1	2	1			
	ムーンビーチ	1									1		1	5				
	ハレクラニ沖縄													5	2			
中部地区	アラハビーチ	1									1	1	2	11			2	
	宮崎ワイマシーディング島	2									3	1	4	12	1			
那覇地区	沖縄近海											1	1	3	1	14		
	ナガンヌ島											1	1	1	1			
南西・大東地区	奥武島	1									1		1	6	2	4		
	南大東	2	1		1			19.00	23,000	800	1		1	2	1			
西部地区	伊江	3	1			1			1,000	1,000	2		2	8	6	1		
	座間味	1	1	1				9.00	15,000	15,000	1		1	1	1			
会武中地区	勝連	2									1	1	2	2	2			
	知念	1	1		1			3.60	7,000	7,000	1		1	2	1			
富古島地区	富古島											1	1	1				
	伊良部	1	2		2			15.50	6,500	6,500	3		3	4	3			
	伊良部・カヌチャ	2									2		2	3	2			
	リゾート・カヌチャ	1									1	3	4	23				
八重山地区	八重山		1		1							2	2	6	3			

救難所別海難救助実績

自 令和06年01月01日

至 令和06年12月31日

(単位:名、隻、トン、千円、回)

水難救済会	救助区分	救助人命	救助船舶								出動内容							
	救難所		隻数	(種類)				総トン数	船体積荷見積価格			出動海難件数			救難所		協力	
				一般船舶	漁船	プレジャー	その他		船体	積荷	計	救助	不救助他	計	救難所員	救助船舶	協力者	協力船
	与那国	1										2		2	5	3		
	波照間												1	1	1			
	琉球計	36	10	1	7	2	52.00	52,500	800	53,300	28	15	43	138	46	20	2	
	総合計	320	117	6	43	67	1	328.12	176,590	6,030	182,620	223	98	321	2,264	771	429	169